

『一生懸命』幻の新座市議会報告第46弾！



2009年7月30日発行

③ 広報費

新座市議会では議員一人当たり月に2万円の政務調査費が会派に支給されています。(埼玉県議会議員では月に50万円と桁が違います。)この政務調査費で各会派が「視察」に行くことはよく知られています。その為に高価なデジカメを政務調査費で買うことも知られています。しかし「視察内容」を市民に報告することに、この政務調査費が使われることはありません。市民のお金で視察したら、市民に報告する。この当たり前のことをしていないのが、今の新座市議会です。語る会の視察は3年間で二度。一度目は北海道恵庭市に行きました。この時は自分の家族の北海道旅行を兼ねて行きましたから、全て自費でした。勿論、それでも視察報告は出しました。議会でも勉強してきたことを生かし質問・提案しました。二度目は愛知県犬山市に行きました。この時は政務調査費を使わせて頂きました。朝、新幹線に乗り、午後一番で犬山市教委の指導課長と懇談し、授業を見させてもらって、また懇談。余りの充実感に時間があっという間に過ぎていきました。犬山市教育委員会には本当に多くのことを学ばせてもらいました。そして、その夜の内に帰宅。昼ごはん代も夕飯代も自費。使った政務調査費は運賃だけでした。もちろん、その時の内容は、この『一生懸命』に詳しく報告させて頂きました。僕のデジカメは自費で購入したのですが、市民に報告する為には確かに必要なものの一つです。そのデジカメの購入は認めるが、市民へ報告する為の「広報費」は認めないと議会運営委員会が唯一反対しているのが市長与党最大会派政和会(自民)です。「市民のお金(税金)で買ったデジカメを持って遠くまで泊まりがけで視察に行くのだから、その内容まで責任もって市民に報告すべきだ。」語る会は議会運営委員会の中でそう言い続けています。市民のみなさんはどう思いますか。

③ 日本にあった政治

今の日本、政権が交代することは確かにいいことでしょう。民主党に政権を取らせてみたい気もします。だけど、自民大勝後の「郵政民営化」が大失敗だったように、民主党も大失敗するかも知れない。それが小選挙区制 = 二大政党の怖さです。日本はアメリカ型二大政党ではなく、ヨーロッパ型の連立を目指した方がいいと僕は思っています。薩摩と長州だけの政治ではなく、土佐も会津も越後もいた方がいいということです。今の新座市議会は自民・公明の最大会派に加え、民主系「刷新の会」も市長与党に徹している為、どうにも転ばない仕組みになっています。政治が硬直しているのです。政治の目的は市民の福祉・向上につきます。選挙に勝つことが目的になっている政治は見苦しい。選挙で何を言ったかではなく、当選後何をしてきたのかを、じっくりと見なければなりません。「民の生活を少しでもよくしていきたい」とそういう目線と精神をもった人を国政でも選んでいきたいものです。僕は小選挙区では政党ではなく人で選び、比例代表区では政権与党のブレーキとなる政党を選ぼうと思っています。



写真は黒目川に生息するオオタカ。これから少しずつ黒目川の動植物を紹介していきます。

㊦ 可哀そうな新座の先生

7月10日(金)臨時議会がありました。国からの臨時交付金「地域活性化・経済危機臨時交付金」と「地域活性化・公共投資臨時交付金」が補正のメインテーマでした。その対象は学校トイレの改修や学童保育の改修、公園遊具の改修、道路補修、保育園の改修、障がい者デイケア施設「けやきの家」建設等、市民の要望が強かったものが多くあり、地元企業の応援にもなるので「語る会」は補正予算に賛成。しかし、小中学校全ての普通教室に50インチ以上の大型のテレビを導入することには大いに疑問を感じたのです。本会議で僕はいくつか質問をしました。まず第一に「現場の先生方に大型テレビを導入することに対して、意見を聞いたのか。」ということでした。普通教室は思ったより狭い。その教室に50インチを超えるテレビを入れるとどうなるか……しかも、キャスター付きで移動可能にするというのだから大変です。掃除をする時は？ あんなに重たいものを移動させれば事故だって起きるでしょう。プラグが抜けて壊れることもあるでしょう。国からの補助金だからといって、各教室に本当に50インチ以上のテレビが必要ですか、大型テレビが本当に必要なのは特別教室ではありませんか。少なくとも理科の授業に関して言えば、教室より理科室に必要です。現場の先生方の意見を取り入れる考えはありませんか。」と僕は質問しました。それに対する教育長の答弁は酷いものでした。「必要だと認識しているので、聴く必要はない。」と彼は言ったのです。教育長が必要だと判断したら、現場の先生方の意見はどうでもいいというのです。こういう専制君主のような発言の下で働く現場の先生たちは本当に可哀そうです。車で通えば駐車料金は取られる。(他市では殆どが無料)その上、現場の意見はまったく聞いてもらえないのですから……。大型テレビを入れれば学力が上がる」と金子教育長。学級を少人数にすることの方が学力は上がるでしょう。大型テレビで学力が上がる訳がないのです！ テレビを使うのは現場の先生たちです。新座の先生達が可哀そうだ。」多くの人たちがそう感じた臨時議会でした。

お詫びと訂正

46弾！ で左にあるような文章を掲載しました。しかし、「大型テレビを入れれば学力が上がる」と金子教育長。」という部分は私の勘違いであることが分かりました。議事録を見ますと、議会で金子教育長はこう発言していました。「文部科学省で平成17年から研究に着手をいたしまして、全国で6か所の指定地域をつくりまして、そこに大型テレビを導入をしまして、どういう成果が上がるかということをして3年間にわたって研究をしてまいりました。(中略)その他、色々な資料提示等々がこの映像を通じてできると思いますし、その6地区の研究結果からでも非常に学習効果が上がるというようなデータが上がってきています。その発言を受けて、僕は「それこそ50インチ以上のテレビが普通教室全教室に入ったら新座市の教育レベルが上がるなんて、そんなそんな馬鹿な話はないんですよ。」と噛みついたのです。その時の記憶が強く残り、議事録を確認しないまま、左記のような文章を掲載してしまった訳です。もう一点、それに対する教育長の答弁は酷いものでした。「必要だと認識しているので、聴く必要はない。」という部分ですが、これについても正確には「私も、この50インチ以上のデジタルテレビは、これからの教育には必要なものと考えておりますので、現場の声云々という次元ではなくて、私たちは教育行政を進める上において、こういった必要な設備だと認識しておりますので、こういった設備を整えてまいりたいというふうに考えております。という言葉でした。紙面に限りがあるとはいえ、教育長が実際に発言した言葉とその言葉を自分なりに解釈して、まとめた言葉を、さも教育長が発言したかのような書き方をしたことは、金子教育長にたいしては勿論、僕の「一生懸命」を読んでくださっている市民の皆様非常に申し訳ないことをしたと反省し、ここにお詫びするものです。また、教育長のことを専制君主と表現したことも、書きすぎだったと反省しています。